

ニューメディア開発協会、自動認識システム協会や三菱商事、日立製作所などがバイオメトリクスセキュリティコンソーシアムを設立へ

(財)ニューメディア開発協会(森下 洋一会長)(社)日本自動認識システム協会(藤田 東久夫会長)三菱商事(佐々木 幹夫社長)日立製作所(庄山 悦彦社長)などは、バイオメトリクス(生体認証)技術の導入を促進する市場環境の整備や国際標準化への提言などを目的として、「バイオメトリクスセキュリティコンソーシアム」(以下、「BSC」)を設立する。

現在我が国では、ICカードなどを利用した個人認証手段が実用化されつつある。その中でさらに、より利便性の高い個人認証手段へのニーズに応える形で、近年急速にバイオメトリクス技術が認証技術の有力候補の一つとして注目されはじめている。また、米国では、2001年9月11日の同時多発テロを機に入退出管理から各種情報資源へのアクセス管理、個人情報の管理などにバイオメトリクス技術が展開されはじめており、また、国際民間航空機関(ICAO)では、入国審査・パスポートに関する規定(DOC9303)の改定作業に関して、技術レポートの中にバイオメトリクス(顔画像を主、紋を副)を追補規定として進めている。

我が国では、これまで、各社がそれぞれの技術をもとにバイオメトリクス技術の開発を進めてきましたが、2003年1月に、ISO/IEC国際標準化への対応としてSC(Sub Committee)37(*)に対応する国内委員会が発足し、国際的な標準化活動と協調した活動がはじまっている。(*)SC(Sub Committee)37: Generic Biometrics(一般的なバイオメトリクス)技術に関する標準化を推進する小委員会

こうした中で、経済産業省の支援を得て、産業界が中心となり、

1. ホームランドセキュリティ、ヘルスケア・医療分野、ユビキタスコンピューティングのセキュリティなど新市場の創出
2. 国際標準化への活発な提案活動の強化と、我が国企業の国際市場開拓の促進
3. バイオメトリクスの利用に関する個人情報保護ガイドラインなどの検討による利用者アカウントビリティの明確化

を目的として、関係省庁、学会および研究機関との協力体制作りを推進するため、今回、「BSC」を設立することになった。

「BSC」では、バイオメトリクス技術および関連する社会制度に関し、利用者側や産業界など課題について対応を検討するとともに、バイオメトリクス技術の導入を促進する市場環境の整備や国際標準化活動への提言など、関連する標準化組織と緊密に連携して実現を図る。

また今後は、ベンダー、システムインテグレーターをはじめ、ユーザー企業である、商社、販売会社、通信キャリア、セキュリティ事業会社、印刷、航空、金融、流通、保険など幅広い参加企業を募り、鋭意活動の活性化を図っていくことにしている。

バイオメトリクスセキュリティコンソーシアムの活動内容は次のとおり。

- (1) バイオメトリクス技術・社会基盤に関する共通案件である基盤技術の調査検討(この内容には、相互接続性、性能評価、品質保証、社会環境・基盤情報などを含む)
- (2) バイオメトリクス技術を応用するシステム構築におけるガイドラインの明確化や、標準化すべき運用仕様(プロファイル)の調査検討(この内容には、運用仕様の観点から、技術、社会環境要因に関する要求事項を明確化し、必要度・緊急度の高いアプリケーションに関して優先順位を検討し、技術検証、実証試験へ発展させていくことを含む)
- (3) バイオメトリクス市場の健全な育成のための広報活動(この内容には、個人情報保護に関する利用者へのアカウントビリティの確立や脆弱性などの問題を産業界、利用者で共有する活動を含む)

(2003・6・19)